

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又 は維持運営等措置	計量器検定・指導啓発(計量器 購入)事業	和歌山県	4,860,000	4,860,000	
2	公共用施設に係る 整備、維持補修又 は維持運営等措置	がん検診・健康診査機器整備事 業		250,155,000	102,726,000	
3	企業導入・産業活 性化措置	企業誘致広報事業		6,831,648	5,000,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	計量器検定・指導啓発(計量器購入)事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		和歌山県		
交付金事業実施場所		和歌山市禰宜瓜畑、和歌山市西河岸町地先		
交付金事業の概要		計量器購入 2台 計量法に定められる計量器(質量比較器)の購入・整備を行います。		
総事業費	4,860,000	交付金充当額	4,860,000	
		うち文部科学省分	-	
		うち経済産業省分	4,860,000	
交付金事業の成果目標	<p>質量比較器は耐用年数を過ぎ壊れても修理する部品もない状態です。 壊れると月約5件の検定、年間では定期検査用の分銅を調整不能となり、2,000台以上のはかりを検査できず、 また大型はかりについても約70台検査ができなくなるため入れ替えが必要となっています。 入れ替えた成果は、トラブルフリーで入れ替える前の件数全てを実施することができます。 こうしたことから、今後も災害時における医療用はかりの正確性の維持やがれき等の計量の正確性を維持する ことが目標となります。</p>			
交付金事業の成果指標	<p>本交付金事業によって成果目標を達成するには、質量比較器を入れ替える必要があり、2台購入することを目標 とします。本交付金を活用し災害により生じた被災した人命の救助並びにがれきの処分を適正に行うため、使 用する計量器を正確に維持することができます。(月平均5件の検定、年2,000台以上のはかりの検査、年約70 台の大型はかりの検査)</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>計量器を2台購入し、災害により被災した人命の救助のため、医薬品を使用するための計量器を正確に維持する ことができました。また、災害により生じたがれきの処分に係る廃棄物処理施設における計量器を正確に維持 ことができました。</p>			

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
備品購入 電子天びん CCS1000K	条件付一般競争入札	セイコーメディカル(株)	2,916,000
備品購入 電子天びん MCM2004	条件付一般競争入札	セイコーメディカル(株)	1,944,000
計			4,860,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	該当なし

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

番号	措置名	交付金事業の名称		
2	公共用施設に係る整備、維持補修 又は維持運営等措置	がん検診・健康診査機器整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		和歌山県		
交付金事業実施場所		和歌山市手平2丁目		
交付金事業の概要	胃・胸部がん検診車購入 1台 胸部がん検診車購入 1台 胃部がん検診車購入 1台 乳房検診車購入 1台 老朽化したがん検診車をより高精度のデジタルX線装置搭載胸部検診車等に更新します。			
総事業費	250,155,000	交付金充当額	102,726,000	
		うち文部科学省分	—	
		うち経済産業省分	102,726,000	
交付金事業の成果目標	和歌山県のがんによる75歳未満の年齢調整死亡率（平成27年）は、80.3（全国78.0）であり、全国ワースト11位と高い状況であります。検診車においても、老朽化に伴い、撮影画質の低下による診断精度の低下、検査機器の故障による部品交換等維持経費の増加等、諸問題が発生していました。そのような中、平成30年にアナログ撮影方式機器へのメーカーメンテナンスが一斉終了する現状を踏まえ、平成26年から30年の5年間で計画的に更新・デジタル化を進め、検診精度の向上、がんによる死亡率低減を目指しています。			
交付金事業の成果指標	平成29年度は、老朽化した検診車（胸部、胃部、胃胸部、乳房）4台をより精度の高いデジタルx線装置搭載の検診車に更新することにより、がん検診受診率及び検診精度の向上を図り、がんの死亡率73.9を最終目標とします。			
交付金事業の成果及び評価	検診車の更新は予定通り、29年度中（3月26日）に胸部、胃部、胃胸部及び乳房の4台について更新済です。より精度の高いデジタルx線装置搭載の検診車に更新することにより、機器の劣化（感度の低下）に伴う受診者の被ばく線量が減少しました。また、その場で画像確認が可能になり、撮影や現像不良による撮り直しがなく、検査業務において確実性、効率化が図られました。がんの死亡率68.3を2021年までの達成目標として（第3次和歌山県がん対策推進計画（平成30年3月策定））、がん検診の充実を図り、早期発見・早期治療を推進していきます。			

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
備品購入 胃・胸部がん検診車	条件付一般競争入札	(株) 大黒	69,255,000
備品購入 胸部がん検診車	条件付一般競争入札	キヤノンメディカルシステムズ(株)	44,172,000
備品購入 胃部がん検診車	条件付一般競争入札	(株) 大黒	55,080,000
備品購入 乳房検診車	条件付一般競争入札	キヤノンメディカルシステムズ(株)	81,648,000
計			250,155,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	該当なし

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。

番号	措置名	交付金事業の名称	
3	企業導入・産業活性化措置	企業誘致広報事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		和歌山県	
交付金事業実施場所		和歌山県内一円	
交付金事業の概要	<p>和歌山県企業立地ガイド作成 3,200部 企業用地位置図 3,500部 広告掲載 新聞社1社 アンケート調査業務委託 2件 各種媒体等を効果的に活用し、立地環境の魅力をPRし企業導入を推進します。</p>		
総事業費	6,831,648	交付金充当額	5,000,000
		うち文部科学省分	—
		うち経済産業省分	5,000,000
交付金事業の成果目標	<p>和歌山県では、近畿自動車道紀勢線をはじめ、京奈和自動車道、府県間道路などの整備が進んだことにより、京阪神や中京圏との交通アクセスが向上し、格段に向上した立地条件や全国最高水準の奨励金制度をアピールするなど企業誘致を進めています。</p> <p>また、立地環境の整備として、紀北橋本エコヒルズを整備するなど関係市町村や団体等とともに協力して企業誘致を行ってきました。その結果、工業団地は、紀北橋本エコヒルズ、紀の川市北勢田工業団地、御坊工業団地がほぼ完売状態です。現在、紀北橋本エコヒルズに近接するあやの台北部地域において、南海電気鉄道株式会社・橋本市・県の3者で新たな大規模工業用地の開発に着手しています。</p> <p>さらに、紀南地域では、南紀白浜空港による東京とのアクセスの良さに加え、都会にない美しい景観や高品質なネットワーク環境など地域のポテンシャルを生かした誘致活動を行っており、世界的なIT企業が白浜町に進出したことを契機に、メディアで取り上げられ、注目が高まり、ITビジネスオフィスの誘致が順調に進んでいます。現在、白浜町ITビジネスオフィスが満室になったため、平成29年度には第2白浜町ITビジネスオフィスを整備するとともに、平成30年度には田辺市において民間活力を利用したITビジネスオフィスを新たに整備する予定です。</p> <p>和歌山県に新たな産業を創出することによる産業構造の多様化を図るとともに、雇用の拡大を図るため、さらに企業誘致を推進します。</p>		
交付金事業の成果指標	<p>本交付金事業によって成果目標を達成するには、広報事業が必要不可欠です。 交付金を活用し、和歌山県をPRすることにより企業誘致(企業訪問件数1,000件)を促進します。</p>		
交付金事業の成果及び評価	<p>県内の地域資源を活用する産業へのPRを積極的に行い、その結果、平成29年度において企業訪問件数1,401件を達成しました。また、16件の立地が決定し、雇用創出及び地域経済活性化等高い効果が得られました。</p>		

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
印刷製本	随意契約（特命）	（株）クリエイター	2,720,520
印刷製本	随意契約（小額）	西岡総合印刷（株）	525,420
広告掲載	随意契約（特命）	（株）日本経済社	1,598,400
調査業務委託	随意契約（小額）	（株）東京商工リサーチ	592,110
調査業務委託	条件付一般競争入札	（株）東京商工リサーチ	1,395,198
計			6,831,648
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	該当なし

（備考）（１）事業ごとに作成すること。

（２）番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

（３）交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第１条（目的）を踏まえて具体的に記載すること。

（４）交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

（５）交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

（６）交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

（７）成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。